

日本発の画期的なクリーン技術 優れた脱臭、抗菌効果をもつ 「光触媒セラミックフィルター」

盛和工業

盛和工業（横浜市都筑区川向町、栗屋野香会長、045・471・4700）は、昭和44年設立以来長年に亘って油圧機器および油圧装置の製造販売を行っており、現在国内における産業用油圧制御試験装置で大きなシェアを占めている。その油圧機器に加え、同社のもう一本の柱と言える光触媒環境浄化装置が、今、内外の注目を集めている。



新千歳空港出発ロビーカウンター下に設置された同社の空気清浄機

て食品の鮮度を保つこともでき、食肉や野菜等を取扱う生産・物流現場からも注目されている。

光触媒とは、酸化チタン等、光の照射によって触媒作用を示す物質のことである。その化学反応の過程で、有害物質、悪臭物質、細菌等を酸化させて無害な水と二酸化炭素に分解し、除菌・脱臭効果を生む。これは太陽光から水素エネルギーをつくり出す夢のクリーン技術としても知られている。同社ではこの光触媒をフィルター化し、「光触媒セラミックフィルター」として特許を取得、紫外線を発光するランプを内蔵させた空気清浄機を開発した。オゾン等を使用した従来の空気清浄機に比べ優れた除菌力、脱臭力を発揮し、その効果は外部研究機関により実証されている。また、光触媒の酸化力はオゾン



創業者である栗屋野香会長

昨年までNEDO（独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構）の認定を受け「循環社会構築型光触媒産業創成プロジェクト」にも参加し、東京大学の橋本和仁教授と共同で研究、開発を行った。新千歳空港ロビーに試験的に設置して性能の高さを確認するとともに、紫外線ではなく可視光（蛍光灯、LEDランプの光等）でも光触媒反応を起こすことに成功した。今後コストダウンを図ることで、さらなる用途の拡大が期待される。実際に、大学病院等医療、教育、介護、研究施設、食品その他の現場に納入実績を重ね、ブラジル等をはじめ、海外へも進出している。環境にやさしい未来都市をめざす盛和工業の技術力は、これからも業界をリードしていくに違いない。

詳しくはホームページにて

<http://www.seiwa-inc.com/>